

196 富山県東南部手取層群の堆積環境

岡本 研 (金沢大学・理)

富山県東南部における手取層群 (上部ジュラ～下部白亜系) についての堆積環境の考察を行なった。当地域の手取層群は一部を除き非海成の碎屑岩より成る。

堆積環境の推定は現在堆積物の堆積累重様式と手取層群のそれとを比較検討するという方法によった。特に露頭条件の良いものに対しては Markov chain analysis を用いて Idealized Sequence を導き、"Facies Model" との比較を行なった。その結果、本層群の形成過程において、扇状

地性礫質網状河川 (Scott type, Miall 1977), 河成平野における礫質網状河川, (Donjek type), 砂質網状河川 (South Saskatchewan type), (網状)蛇行河川, それに湖または沼という堆積環境が存在していた事が明らかとなった。これらの堆積物の分布と古流向及び粒度組成変化等を考え合わせ、本地域の手取層群の環境変遷の復元を試みた。概略を以下に記す。

- 1, 礫質網状河川 (南東部) 及び湖水 (北東部)
- 2, 砂質網状河川 (南東部) 及び湖水 (北東部)
- 3, 湖水 (全域)
- 4, 砂質網状河川 (全域)
- 5, 礫質網状河川 (全域)
- 6, 砂質網状河川 (全域)
- 7, (網状)蛇行河川 及び 沼地
- 8, 礫質網状河川, 東方への堆積区拡大。

